



NO.63

2004. 9. 30

The Committee for Promotion to Innovate Japanese People by Educational and Cultural Contact, since 1979

2004 年度スローガン

「今後 10 年間で、躍動する C.P.I.に発展させ、次世代に引き継ごう」

目 次

現・教育里子との交流にかかわる質問にお答えします	P 2
2004 年度総会報告（遅くなってすみません）	P 3～4
2004 年度の計画進捗。たくさんのワキワキも！！	P 5～9
C.P.I.のホームページって、なにが載っているの？	P10
スリランカ事務所に、中濱良二さんが赴任されました	P11

ホームページで、C.P.I.を知っていただきましょう！

教育里親のない里子たちを会員みんなで支援しています。

ご家族やグループでの教育里親なら、ひとりのご負担は、ほんの少しです。

どうか呼びかけをおねがいします。<http://www.cpi-mate.gr.jp/> です。

年賀状に、C.P.I.ホームページ URL の掲載をお願いいたします。

2004 年中間の会状況

スリランカ 教育里子数	1,500 名
教育里親数	920 名
(45 名不足です)	
インドネシア教育里子数	403 名
教育里親数	328 名
(54 名不足です)	
C.P.I.賛助会員数	141 名
(120 名不足です)	

教育里親の不足の分を、賛助会員を含めた
全会員で支えています。

Q & A

現・教育里子との交流にかかわる質問にお答えします

Q：このごろ本部主宰のスタディツアー案内がありませんが…

A：1993年に、世界的に流行したサルズ病や、どこでおきるかわからないアルカイダのテロが問題になりましたよね。2002年まで、C.P.I.本部と現地組織は、スリランカのLTTEのゲリラ活動や、インドネシアでの経済暴動に備えた連絡システムをつくって、教育里親さんたちの旅行が安全に終わられるように考えてきました。でも、それだけでは責任を持ちきれないことが多くなっています。会主宰として交流旅行を組みますと、絶対的な安全を問われます。それで逡巡してしまっただけで案内をだしていなかったのです。説明不足で申し訳ありません。

Q：個人的に里子に会いに行きたいのですが、本部から、会う段取りをつけていただけるのですか？

A：はい。歓迎します。旅行日程をお出しいただいて、会える日時を段取りいたします。

Q：里親新聞というものを里子たちに送っていると聞きましたが、何が書かれているのですか？

A：日本語版もつくってあります。C.P.I.のホームページに『会員ページ』をつくってPDFファイルでバックナンバーを見ていただけるようにしたいのですが、まだできていません。

興味のある方は、編集長の山川さんから、PDFファイルをE-mailでお取り寄せください。

次のE-Mailにご連絡をお願いします。YQL00201@nifty.ne.jp 里子新聞編集長 山川 宛

Q：スリランカの里子からの手紙は、きちんと翻訳されているのでしょうか？ 私の知人がスリランカ人ですから、「ときどき翻訳が変だよ」と言っています。よければお手伝いしたいのですが。

A：それはありがたい情報です。

実際、里子の書いたシンハラ語と現地からの翻訳を比べたとき、現地の翻訳者によっては文章が省かれていることがあります。先日も、SNECCスマンガラ理事長が来られたときに突合せをして、翻訳者の能力アップを必要とすることを協議しました。里子からは相当こまかく書いてきているのに、翻訳者のところで省略されたのでは、里親とのコミュニケーションで不満がでてしまいます。

C.P.I.とSNECCは、現地で日本語に翻訳する人が不足していたので、47名の日本語教師の中から試験を行い、やっと6名を選び、里子からのシンハラ語を日本語にするシステムをつくりました。

里子たちにシンハラ語で自由に書けるように、という趣旨でした。

しかし、それでもなかなかうまくいかない、ということですね。ほんとうに悩んでしまいます。

Q：里子新聞で、スリランカやインドネシアの『お祭り特集』として、知らせていただけませんか？

A：ぜひ取りあげたいですね。子どもからの手紙の文面にも見られますから、次の号から考えます。

Q：卒業した里子から、日本に行って働きたいと手紙が来ています。

どのように返事したらいいのでしょうか？ 安易に呼ぶことはよくないとおもいますので。

A：それは困りますよね。いちばんよいのは、大使館で日本政府留学生試験に合格して来日し、卒業後に日本で就職する方法です。または、自国の会社からの推薦で「海外からの研修生を職業訓練する日本政府の機関」で研修してから就職する道があります。技術系ですが。そういったルートで来日したら、里親として生活で不慣れな面を励ましてあげられると思いますよ。そう返事してあげてください。

2004年度 総会報告

NPO 法人 C.P.I.教育文化交流推進委員会
会長小西菊文

皆様ご清栄のこと、お喜び申し上げます。2004年度総会の報告を申し上げます。

月日 2004年6月19日 総会 14:00～17:30

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター 108号室(視聴覚ルーム)

14:00 開会

議長:会長は、三谷誠一理事を議長として指名した。

副議長:人見守氏が、副議長として出席者の中から選出された。

議事録署名人:秋本英雄氏・中濱良二氏が出席者の中から選出された。

成立宣言:議長は、正会員 1166名中、会場出席 20名および書面表決者 493名にて総会が成立したことを宣言し、直ちに議事に入った。

14:15 第一号議案 会長および担当者により2003年度事業報告が行われ承認された。
採決結果を、本報告末尾で表す。以下、各議案について同様とする。

15:15 第二号議案 会計委員長および監事により前年度決算報告および監査報告が行われ、承認された。

質問A:スリランカからの現地報告で、「SNECCによる立替」とあるのは何か?

回答A:今年度、会計委員長に現地訪問をいただき、SNECCの新任会計士との協議を願いたい課題である。2002年度にSNECCはC.P.I.の要望以上の教育里子を選考し、現地予算オーバーした。SNECCは超過分を剰余金からカバーしたとのことだが、新任会計士はそれをSNECCからC.P.I.への立替として2003年度に処理した。その報告は本年5月22日の理事会の後にきたため、修正処理協議が間に合わなかった。本年度に修正処理を協議したい。

15:45 休憩

15:55 第三号議案 新理事選任案

前・神奈川地域会世話役代表 小須田和良氏が推薦され、承認された後、小須田氏から、就任あいさつが行われた。

16:00 第四号議案 会長により2004年度事業計画案の説明が行われ承認された。

17:00 第五号議案 会長により2004年度予算案の説明が行われ、承認された。

質問B:財政の課題が逼迫している。運営調整の方法を伺いたい。

回答B:当を得たご質問に感謝する。

理事会としては、本年9月に収入予定・支出中間チェックを行う予定である。

採決の詳細は次のとおり。

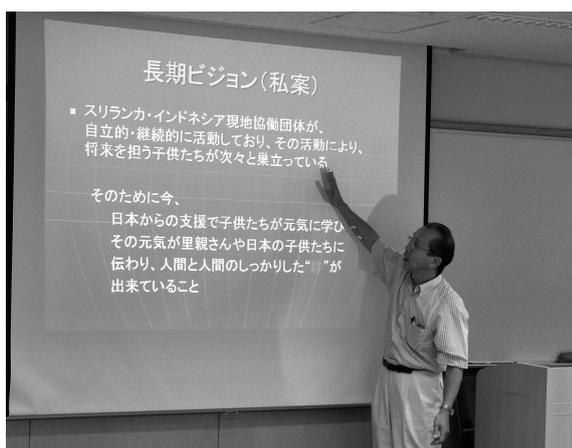
	第一号議案	第二号議案	第三号議案	第四号議案	第五号議案
正会員総数	1166	1166	1166	1166	1166
会場出席者	20	20	20	20	20
期日到着書面	493	493	493	493	493
会場承認票	20	20	20	20	20
書面承認票	492	492	491	489	486
承認票合計	512	512	511	509	506
会場非承認票	0	0	0	0	0
書面非承認票	1	1	2	4	7
非承認票合計	1	1	2	4	7
採 決	承認された	承認された	承認された	承認された	承認された

17:30 議長は、以上で議事を終了することを宣言し、総会を閉会した。

議 長 三谷 誠一（署名）
 署名人 秋本 英雄（署名）
 署名人 中濱 良二（署名）



総会での討議



総会に先立って行われた評議員会で、昨年の討議にもとづき改善案を発表する中濱さん（改善案まとめ部会チーフ）。中濱さんは2004年9月から、C.P.I.スリランカ事務所に赴任しました。

今年度の計画について8月末の状況です。「悩み」も「わくわく」もあります。

1. 評議員会からの意見・提案は、「会の組織活動を活発に」でした。

2004年度評議員会(11月開催)に向けて、会員さんからののお便りをお待ちします。

- 「私はこうして友人に参加してもらえた」。
- 「私はこうして里子交流のよさを知ってもらえた」。
- 「地域会世話役と本部との速い情報で、よかったことがある」。
- 「地域会世話役から会員への的確な連絡により、よろこんで戴けた」。
- 「会員間の結束を図ったところ、多くの参加者によろこんで戴けた」。
- 「里子新聞に私の里子が乗っていた。うれしい」。



一人ひとりの思いを、もっとリンクできるように！

糸井重里さんが、＜インターネット的 (PHP 新書)＞で書いています。
「おいしい魚をみんなで食べたいと熱心に考えていた人が、おいしい寿司屋を開きたいと思ったら実現できてしまう。そのためには、ひとの思いが、思いもよらないところにリンクしていくことが大切だと思います。そういうことが素敵だと思う人が増えるインターネット的な社会をつくりたい」
C.P.I.は、ホームページをもっています。MLもあります。地域会や本部に手紙をくださったお便りを紹介することもできますよ。

一人ひとりの考えや体験をシェアできるように！

みんなが使える情報は、タイミングがよければ、早く分け合いたいものです。たとえば C.P.I.で始めた学校間交流。2003年度の報告は PDF ファイルで E-Mail で送れるようになりました。cpi_mate@muh.biglobe.ne.jp

C.P.I.の仲間は、全員がフラットであり続けられるように！

便利な道具であるインターネット。簡単に使える時代です。
C.P.I.がいましていること、考えていることを、誰でもホームページでご覧戴けます。紙の情報よりコスト安です。もっと利用しましょうよ。

2. 本部が実施していること

- (1) 正会員(教育里親)の増減を、プラスに転じるため、C.P.I.のホームページを紹介しています。

NGO GUIDE 2004 (首都圏だけで 100,000 部共同配布)でも、国際フェスティバル立看板でも、ホームページの宣伝を行っています。

- (2) 退会会員のうち 883 名に、里子新聞を送り、文書を入れて、賛助会員への復帰をお願いしました。
(3) 会員のみなさんからの紹介で、知人への、とくにご家族・グループでの入会をお勧めしています。

- (4) 理事会内の確かな情報の共有、速い協議と実施のため、運営会議を行っています。
- ① 分掌担当者には、9月、11月、2月、5月に成果発表できるよう、お願いしております。
 - ② スリランカおよびインドネシアの教育里子支援は、2004年度予算にもとづき行いました。
 - ③ スリランカとの運営協議は1月に、インドネシアとの運営協議は7月に行いました。
(当初計画からの修正を、資料をご覧ください)
- (5) 広報を、①会報 ②里親・里子新聞 ③個別里子報告 ④ホームページ ⑤活動リーフレットで分担を図っています。⑤の「活動ごとのリーフレット」が未作成です。助けてくださる専門家を探しています。
- (6) 国税庁認定法人の申請準備の一環として、現地に C.P.I.現地事務所を登記しスタッフ強化をします。。
- ① C.P.I.スリランカ事務所の登記が8月に完了し、中濱良二さんがボランティア赴任してくださいました。
 - ② 引き続き、インドネシア事務所の登記に取り組んでいます。
- (6) 現地との間で培ってきた協力体制を維持強化し、C.P.I.の「目に見えない財産」を広範に活かします。
- ① 学校間交流の展開。庭野平和財団から66万円の助成金を戴き、鈴木担当を先頭に進めています。
 - ② 里親新聞は年一回スリランカおよびインドネシアに対して発行しています。
 - ③ 里子新聞はスリランカおよびインドネシアから各々年2回会員に向けて発行を進めています。
- (7) C.P.I.本部および現地協力団体活動を円滑に行えるよう、財務体制の改善を図っています。
- ① 最も基盤である会員の増加については、会員の皆様のご協力を得て取り組んでいます。

C.P.I.の信頼は、なんととっても17年間におよぶ教育支援にあります。
スリランカ100拠点400校以上の協力学校、インドネシア37拠点300以上の協力学校は、両国に係る日本のNGOでは最大の規模です。
これらの拠点でもっと多くの貧困な学生や地域住民への協力ができます。
交流面での楽しみも、これから！です。会員を増やしましょう。

- ② 本部経費のコスト削減に、一層の努力をしています。(9月末に会計中間チェックを行います)

財務的には、はっきり申し上げて正念場ですね。
以下のように努力をしています。これらが実ってきくと大輪が咲くはずですが、
でも会員が減っては基盤がゆらぎます。皆様、よろしくおねがいします。

- ③ 民間の機関寄付は、75万円まで確保しました。まだ予算の半分です(予算は1,485,800円)。
- ④ 世界銀行JSDF無償プロジェクトが本年11月に開始予定！やりました！3年間のプロジェクトです。
小西会長が、住民参画プロジェクト専門家として参画しますので、C.P.I.に受託収入が入ります。
- ⑤ 庭野平和財団から、66万円の助成金が、学校間交流プログラムに対して戴けることになりました。
“学校間交流”という活動が、日本の子どもたちの成長にとっても役立つと認められたのです！！
- ⑥ 日本のODAを行っている国際協力銀行に対して、受託事業の申請をしています。現在第四段階(正式プロポーザル受理)までできています。11月には採択の合否がわかります。ドキドキしています。
- ⑦ 民間企業へのコーディネートによる受託事業が始まります。来年6月には発表できる予定です。
- ⑧ フェアトレード活動寄付は、10月からサンプル配布を135名の協力拠点にお送りする予定です。

(8) 教育里子卒業者は、社会リーダーとして自立活動を企図しはじめています。

それに呼応して支援を行えるよう政府および国際機関との連携を図ってきました。

世界銀行の Japan Social Development Fund による無償プロジェクトを、インドネシアスマラン政府との契約に基づき行うことが決定しています。C.P.I.は、小西会長が世界銀行から International Facilitator として認知され、一年間に6週間の受託活動にあたります。

里子卒業者からは、12名が3年間、有給で Field Facilitator として参画します。

3. スリランカとの2004年度協働に係る進捗。 (資料.1)

C.P.I.-SNECC 協働にかかわる全般事項

<p>会議(文書含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・両者は、理事会から代表として4名の理事を選び、討議メンバーとする。 ・通訳は同席する。 ・議題で示された作業にとくに係わりのある C.P.I.または SNECC の担当者は、意見を求められることがあるので、オブザーバーとして臨席することができる。 <p>・今回 (1月27日-28日)の会議の議題は、C.P.I.のスリランカ事務所登記、協働のやり方の全般に係わること、および2004年のスケジュールに係わること、以上3点とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2005年度のC.P.I.からの教育支援金額およびC.P.I.教育里子数については、9月末に通信により協議する。 ・2005年度のスケジュール協議は、2005年1月頃を予定し、詳細は通信により協議する 	
<p>中間モニタリング</p>	<p>9月～10月にかけて SNECC は全国地域センター活動のモニタリングを行う</p> <p>C.P.I は活動成果につき受益者参加型モニタリングを行う準備を行う。</p>	
<p>活動報告書</p>	<p>SNECC は、SNECC 前年度の活動評価を毎年1月に開始し、C.P.I.に対して5月中に、英文で報告を送る。C.P.I.は、日本国内で SNECC の活動についての報告準備を6月中に整えることができる。</p> <p>C.P.I. は前年度の活動評価を4月に行い SNECC に対して6月中に英文で報告書を送る。SNECC.は、スリランカ国内で C.P.I.の活動についての報告準備を7月中に整える。</p>	
<p>会計報告書</p>	<p>SNECC は、C.P.I.に対して、C.P.I.に関連する資金すべての前年の収支および会計年度終了時(3月31日)の残額を、5月中に報告する。</p> <p>C.P.I. は、SNECC に対して、前年度の C.P.I.の会計報告を6月中に送る。</p>	
<p>会計特記事項</p>	<p>C.P.I.も、SNECC も、会計年度は4月1日～3月31日である。しかし、2004年度の奨学金は2004年3月31日以前に開始される事実がある。したがって、2004年3月31日以前に発生した資金の動きについて、C.P.I.と SNECC は次のように会計処理を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. C.P.I.は支援金の送金を『前渡し金』として処理し 4月1日以降に『教育支援金』に振替える。 2. SNECC は、支援金の受領を『前受け金』として処理し、 4月1日以降に、適切な資金勘定に振替える。 	
<p>送金・受領に係わる 会計上の分類</p>	<p>※C.P.I.からの送金の ときの特記事項</p>	<p>C.P.I.から SNECC への資金は、C.P.I.の銀行口座から SNECC の口座に対する送金とする。 C.P.I.スリランカ事務所登記後は同事務所口座に送金とする</p>
	<p>※SNECC が受領する ときの特記事項</p>	<p>SNECC は、C.P.I.からの資金を受領したとき、送金票に記載された資金の分類に基づき処理する。</p>
	<p>※送金資金の分類に 関すること</p>	<p>上記資金の分類は、教育支援金、C.P.I.現地事務所経費、SNECC 事務局費、Educational project 等、通常の奨学プログラム以外のプロジェクトに係わる資金(C.P.I.の会計では『特別会計』)、特別基金設置資金とする</p>

スリランカとの2004年度スケジュール

	奨学生に対するSNECCの活動	日本の会員への報告等活動	C.P.I-SNECCの団体間の活動
12月末 ～ 1月	奨学生認証式と 奨学品の第一次配布		
1月	教育里子(OL結果待ちを除く) に対する教育支援開始	里子新聞"スチューティ" No.2発行 (C.P.I. 全会員に個別発送)	C.P.I.から2004年度第1回送金 C.P.I.-SNECC合同役員会
2月		第一次里子報告 新・教育里子9年生を里親と組み合 わせ、家庭調査報告を行う。	第一次里子報告準備 新・教育里子9年生家庭調査 里親一里子新聞のため準備 (里子新聞スチューティNo.3 里親新聞"こんには"No.3)
		教育里子からの2004年1回目手紙 (一月の教育里子の手紙を翻訳)	2003年度活動報告の作成 2004年度協働活動の準備
4月	第一次活動モニタリング (地域センター長は、里子レポート をSNECC本部に送る)	決算会計報告の作成	C.P.I.から2004年度第二回目の送金 2004年度の里親一里子組合せ SNECCに送付 2003年度活動報告の作成 2004年度協働活動の準備
5月	里子たちからの、地域センターに係 わる受益者レポート OL 試験の結果調査 進学報告のない学生に対しては、 奨学を終了する。	C.P.I.総会に向け事業報告作成	CPI,SNECCは 2003年度活動報告を英文で作成 2004年度協働活動を英文で作成
6月	AL課程および実務学校へ進学し た教育里子への教育支援開始 上記2つとも、選挙のため 7月にずれた。	教育里子からの2004年2回目手紙 (4月の教育里子の手紙を翻訳) 第二次里子報告 該当する里親にOL試験の報告	第二次里子報告準備 OL試験の報告(合格・不合格・進学・ 結婚・就職など) 8月にずれこみ
7月		里子新聞"スチューティ" No.3 発行 8月末にずれ	里親新聞"こんには" No.3 発 里子新聞スチューティNo.4 準備 C.P.I.から2004年度最後の送金 8月末 にずれ
8月	SNECC地域センター長から、里子 レポートを聴取。 AL試験の結果調査開始。9月完了		第二回目の<教育支援10年以上の C.P.I.会員の表彰>を日本 延期
9月	来年の継続・キャンセル・新9年生 のリストづくり開始		2005年度の新9年生の数を決定する。 (通信による合同役員会による)
10月	SENCCによる全国調査 各地域センターを巡回し、里子との 面接を行い、来年度の奨学生の継 続についての調査を行う。	教育里子からの2004年2回目手紙 (8月の教育里子の手紙を翻訳)	第三次里子報告準備 AL結果報告および全国調査報告を検 討、11/15までにAL試験結果および全 国調査の確定報告を用意する。
11月		第三次里子報告 AL結果報告およびSNECCの全国調 査報告を、12月はじめに里親へ送 る。	
12月	2005年度の新9年生の選考 11～12月、9月の決定に基づき、 2005年度の新9年生の最終選考を 行う。		2005年度の合同役員会準備 (1月に行う合同役員会の準備)
	奨学品の準備 新9年生、継続する10-11年生、 13-13W年生を予想し奨学品を 準備する。	C.P.I.から里親会員へ個別報告 (1) 里子の現在状況および来年度の 教育支援継続の依頼 (2) 修了里子を持つ里親会員に、新 たな里子への教育支援を依頼 会員に2005年度の教育支援金の納 入依頼を行う。	

4. インドネシアとの協働は、別紙協議に基づき行っています。(資料2)
 インドネシアの制度を見直す件については、理事会で具体策を考えつつあります。

インドネシアとの2004年度協働に係わるスケジュール			
	活動の根幹を協議する	協同して進める作業	PPKIJのインドネシア内作業
2004年6月	1.C.P.I.からの教育支援金額	<ul style="list-style-type: none"> ● 合同役員会 ● 協同受託活動の準備 ● C.P.I.現地事務所登記 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; text-align: center;">準備開始</div>	里子新聞No.2の作成
	2.国立大学奨学生第6学期(3年生後半)以降の支援方法		2003年度里子レポート聴取
	3.新規中学生の選考について		
	4.PPKIJ本部経費の確保		
2004年7月	PPKIJ全国地域リーダー会議	里子新聞No.2の発送	一回延期 大学受験者を除く里子調査
2004年8月		以下3点を開始する	1.就職推薦の開始
		1.大学生への家庭支援	2.中学生新規里子の選考
		2.協同受託作業	(6月に決定できた場合)
		3.里子新聞No.3の作成	
2004年9月		2004年度 奨学の開始	大学受験者した里子調査
2004年10月	後半協議	2004年度奨学金支給開始	
2004年11月		里子新聞No.3の発送	新規里子報告を作成
2004年12月		C.P.I.正会員に報告	
2005年1~5月	次年度協議事項の準備	里子の全地域における中間モニタリング	



インドネシアでの PPKIJ との協議風景 (山川撮影)



C.P.I.本部・若手ボランティアの集まり (4月)



インドネシア・スマラン地方政府から提供された C.P.I.と PPKIJ の活動のための建物です。世界銀行 JSDF プロジェクトの拠点を含みます。

C.P.I.ホームページに載っているコンテンツの紹介です

▼C.P.I. の国内リーダーの皆さん▼

⇒ 地域会代表を紹介しています。(自己紹介記事も載せたいものです)

▼教育里親は、一人ひとりの国際協力▼

- ここにも来てくださいね⇒ なぜ教育協力をするのか…の疑問にお答えしています。
- なぜ“インドネシア”？⇒ インドネシアの協力団体や里子たちのことを紹介しています。
- なぜ“スリランカ”？⇒ スリランカの協力団体や里子たちのことを紹介しています。

▼概要▼

会の概要を知っていただくページです

- 目的および事業内容
- 組織
- 会計
- 政府・財団からの助成実績
- 教育支援

▼掲載新聞記事▼-->

- “掲載記事メニューへ”を押すと、いろいろな新聞記事を見られるようになっています。

▼教育里親とは▼

会を支えるのは会員の皆さんであることを説明しています

- 会員の権利
- 会員の義務
- 文通や現地里子訪問
- 教育里親活動について

▼会員になるには▼

一口 10,000 円の賛助会員から参加できます。2004 年度はじめての会員数は、1,389 名です。

- 教育里親を探している奨学生の写真・プロフィール ⇒ 写真が重くなりすぎますので、方法を検討中です。
- ご参加の方法は？ ⇒ 会員、ボランティア、インターンなど、参加方法を紹介。
- 会員ご希望の方はここ ⇒ ここを押すと、入会申し込みのページに行けます。

▼リンク、講演、事業委託、その他依頼の窓口です▼

▼『教育里親募集』ご協力を下さった企業・労組のリンク(募集中です) ▼

- 過去、『教育里親募集』ご協力を下さった企業・労組。
- 関係官庁

▼C.P.I. がいま行っている活動の 情報です▼

- ネットセミナー:「子どもたちを守る」気持ちをひとつに ⇒ 中学生以上のひと向けネットセミナー。
- いま、海外で取りくんでいるのは、次のようなことです ⇒ 下の各項目を押すと写真つき説明が出来ます。
 - ・ 活動の柱は、教育里親制度による中学からの持続的教育支援
 - ・ 世界銀行無償支援プロジェクトへの参画が決まりました！
 - ・ スリランカ／インドネシアでの、技術教育に協力しています
 - ・ インドネシア地方医療の向上めざし、遠隔技術教育を実現させたい
 - ・ スリランカ紅茶労働者の貧困を救うフェアトレードを実現させたい
- いま、国内で仲間がほしいのは、次のようなことです ⇒ 下の各項目を押すと写真つき説明が出来ます。
 - ・ 教育里親制度を続け、広めていく活動
 - ・ ボランティアまたはインターンを募集
 - ・ 日本の子どもたちのためにも学校間交流を広める活動
 - ・ C.P.I.地域会では、会員による啓蒙活動

▼現地のエピソード▼

- 卒業した教育里子たちへのインタビュー
- 絶対におもしろい本を紹介 ●日本に来た教育里子の代表たち